

LAYANG LAYANG

3-4月の出来事

コタキナバル市職員が秋田市で廃棄物管理を学び実践へ

一般社団法人あきた地球環境会議は、サバ州コタキナバル市職員6名を秋田市に招き、廃棄物管理制度や実践手法を共有しました。今後、家庭ごみ分別・回収のためのガイドラインを作成し、コタキナバル市のパイロット地区にて試行する予定です。



家庭ごみ分別・回収ガイドライン策定委員会



秋田協同清掃（工場視察）

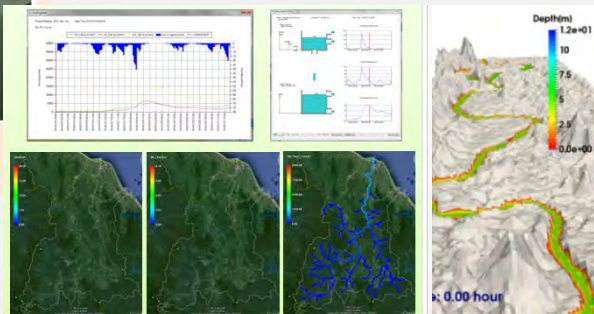
「コタキナバル市における廃棄物管理の改善」 期間:2015/12-2018/12 マ側機関:コタキナバル市

地すべり災害や水害による被災を減らすための研究成果発表



地すべり即時早期警報

洪水シミュレーション、予測



東京大学らとマレーシア科学技術大学らは、地すべりや洪水災害に関するリスク管理システムの試行版を共同研究の成果として、高等教育省に引渡しました。洪水予測や地すべりの早期警報により、被災防止や低減に役立ってるねらいです。

「マレーシアにおける地すべり災害及び水害による被災低減に関する研究プロジェクト」 期間:2011/6 - 2016/6 マ側機関:マレーシア科学技術大学他

帯広商工会議所がケダ州と国際ハラル展示会に出展

3月30日～4月2日、KLCCコンベンションセンターにてマレーシア国際ハラル展示会が行われ、多くの人々が訪れました。帯広商工会議所はケダ州開発公社と協力して出展し、和菓子などの製品を披露しました。ナジブ首相もブースを訪れ日本の味を楽しみました。



13th MIHAS(国際ハラル展示会)の様子

「フードバレーとかちを通じた地域ブランドとハラル対応による産業活性化および中小企業振興プロジェクト」 期間:2016/1-2019/1 マ側機関:ケダ州開発公社

マレーシア日本国際工科院 第2回就職フェア開催



就職フェアの様子



2016年4月14日と21日にマレーシア工科大学内、マレーシア日本国際工科院（MJIT）にて、第2回就職フェアが行われました。参加学生は2日間で計423名、出展企業は32社、内29社が日系でした。場所と時間に余裕があり、企業、学生共に、十分に説明や面接ができ、満足したという評価を得ました。

「マレーシア日本国際工科院整備事業附帯プロジェクト」 期間：2013/7 - 2018/7 マ側機関：マレーシア工科大学

地球温暖化を防止して二酸化炭素の排出を減らすために...



4月21日「アジア地域の低炭素社会開発シンポジウム」
（マレーシア工科大学、イスカンダル地域開発公社、住宅地方自治省都市・地方計画局と共催）



京都大学ら日本の研究機関とマレーシア工科大学などが共同して、低炭素社会を実現するためのシナリオ作りへの協力を行いました。成果はジョホール州のイスカンダル地区都市開発計画に盛り込まれ、さらにアジアの他の都市にも広げるための活動が始まっています。

「アジア地域の低炭素社会化シナリオの開発プロジェクト」 期間：2011/6 - 2016/6 マ側機関：マレーシア工科大学、イスカンダル地域開発公社等

障害者支援JICAボランティアとその同僚による年次会合

3月19-20日の2日間、障害者支援に関わるボランティア11名とその同僚や上司にあたる26名、教育省、社会福祉局、保健省、NGOなどから総勢44名が集まりました。今年は福祉、保健、教育の連携をテーマに活動報告や職場の紹介、個別支援計画を考えるグループワークなど活発な討議が行われ、普段は草の根で活動するボランティアにとって、情報共有や、交換、討議の良い機会となりました。



マレーシアの高齢化

マレーシアでは、短い期間で高齢者が増加しており、2040年には高齢者（65歳以上）人口の割合が10%を超えると予想されています（国連によれば65歳以上の人口が7%以上は高齢化社会）。また、経済発展に伴う都市化や核家族化による高齢者の孤立も懸念されており、第11次マレーシア計画（2016-2020）でも、高齢者の生活環境の向上が一つの課題となっています。

JICAマレーシアでは、「高齢化社会に向けた地域社会に根差したプログラム及び社会的支援の構築プロジェクト」（2015年11月～2年間）を実施し、高齢者が地域において、自立して生き生きと暮らせるよう、社会福祉局などと一緒に考えていくことを計画しています。具体的には、余暇活動や生涯学習などを通じた社会参加の促進、在宅を含む地域でのケアの充実など、日本やタイなどの経験を共有した上で、民族の多様性や経済発展のスピードといった固有の状況もふまえ、マレーシアに合った高齢者支援方策を議論していきます。他にも、高齢者の健康管理を担う保健省とも協力し、多面的な協力展開を検討しています。

外国人として首都で生活していると、高齢化を感じることは少ないですが、高齢化に関する報道も時折見られ、関心は高まっていると感じます。高齢化への対応には、政府などの公的機関の努力だけでなく、NGOの参画への期待が高く、民間のノウハウの活用の余地もあるように思われます。

（JICAマレーシア事務所所員 園山由香）

<参考>「マレーシア高齢化に係る情報収集・確認調査 最終報告書」（2014年2月、JICA）[ウェブサイトで公開されています]



高齢者施設訪問調査の様子

その他のニュース「南南協力」

- パレスチナでのカイゼンの普及に第三者の視点で貢献（パレスチナ向け第三国研修 2月21日～3月5日）
http://www.jica.go.jp/malaysia/office/information/event/160325_02.html
- 成果中心の第三国研修に向けて（3月16日）
<http://www.jica.go.jp/malaysia/office/information/event/160420.html>
- パレスチナ三角協力技術者会合の開催（4月28日）
<http://www.jica.go.jp/malaysia/office/information/event/160518.html>

JICAマレーシア HP及びニュースレターのバックナンバーはこちら→ <http://www.jica.go.jp/malaysia/index.html>

JICA HPIはこちらから→ <http://www.jica.go.jp/>

配信(追加、停止等)に関するご希望、ご意見、ご要望など → ms_oso_rep@jica.go.jp

JICA Malaysia Office

Level 29, Menara Citibank, 165 Jalan Ampang 50450 Kuala Lumpur Malaysia
Tel: 603-2166 8900 Fax:603-2166 5900
E mail address : ms_oso_rep@jica.go.jp